

実施回	授業計画	予習・復習・キーワード	担当
1 (9/5) 3限	<p>薬理学を学ぶにあたって</p> <p>【薬理学とは何か】</p> <p>① 薬物について素材・特徴について説明できる。</p> <p>② 薬理学のなりたちについて説明できる。</p> <p>薬理学の基礎知識 (1)</p> <p>【薬が作用するしくみ (薬力学)】</p> <p>① 薬理作用の作用機序を区分することができる。</p> <p>② 受容体を介した作用機序について説明できる。</p> <p>③ 受容体を介さない作用機序の具体例を挙げ、説明できる。</p>	<p>[予習] 教科書 4-13、16-22 を読んでおくこと。</p> <p>[復習] 配布資料の確認、空欄の語句を埋め、授業内容を整理する。</p> <p>[キーワード] 薬の歴史、薬理学、薬力学、薬物動態学、原因療法薬、対症療法薬、補充療法薬、予防薬、誤薬の防止、服薬遵守、薬理作用、受容体、イオンチャネル、酵素、トランスポーター、作用薬、拮抗薬</p>	○前畑
2 (9/12) 3限	<p>薬理学の基礎知識 (2)</p> <p>【薬の体内の挙動 (薬物動態学)】</p> <p>① 薬物投与法の種類を挙げ、各々の投与法の利点と欠点について説明できる。</p> <p>② 薬物動態の過程を説明できる。</p> <p>③ 薬物の吸収の経路について説明し、吸収に影響を与える要因について説明できる。</p> <p>④ 薬物の分布に影響する要因を説明できる。</p> <p>【薬の体内の挙動 (薬物動態学)】</p> <p>① 薬物の代謝器官を上げることができる。</p> <p>② 薬物代謝における様式について説明できる。</p> <p>③ 主な排泄器官を説明できる。</p> <p>④ 薬物動態の指標について挙げ、各々を説明できる。</p> <p>⑤ 薬物血中濃度モニタリング (TDM) について説明し、TDM が必要な薬物を上げることができる。</p> <p>薬物相互作用の有用な面と有害な面を挙げ、各々の特徴について説明できる。</p>	<p>[予習] 教科書 23-31、31-43 を読んでおくこと。</p> <p>[復習] 配布資料の確認、空欄の語句を埋め、授業内容を整理する。</p> <p>[キーワード] 薬物適用法、吸収、分布、代謝、排泄、初回通過効果、イオン型・非イオン型、血漿タンパク質、結合型薬物、遊離型薬物、薬物代謝酵素、抱合、生物学的半減期、バイオアベイラビリティ、分布容積、クリアランス、TDM、薬物動態の相互作用、薬力学的相互作用</p>	○前畑
3 (9/19) 3限	<p>薬理学の基礎知識 (3)</p> <p>【薬効の個人差に影響する因子】</p> <p>① 薬効に影響する因子を挙げ、各々の特徴について説明できる。</p> <p>② 薬物の副作用の具体例を挙げ、仕組みについて説明できる。</p> <p>【薬と法律】</p> <p>① 医薬品に関する基本的な法律について説明できる。</p>	<p>[予習] 教科書 44-53、54-62 を読んでおくこと。</p> <p>[復習] 配布資料の確認、空欄の語句を埋め、授業内容を整理する。</p> <p>[キーワード] 薬物側に起因する因子 (用量、動態に対する特徴)、感受性に影響する因子 (年齢、特異体質、心理状態、薬物併用と薬物連用)、薬物耐性、薬物依存、薬物相互作用、医薬品</p>	○前畑

	<p>② 薬物を強度から分類し、表示方法と保管方法について説明できる。</p> <p>③ 日本薬局方について説明できる。</p> <p>新薬開発の過程を述べ、治験におけるヘルシンキ宣言の概要を説明できる。</p>	<p>医療機器等法（旧薬事法）、日本薬局方、麻薬および向精神薬取締法、覚せい剤取締法、大麻取締法、毒薬、劇薬、普通薬、治験、二重盲検法、ヘルシンキ宣言</p>	
4（9/26） 3限	<p>抗感染症薬（1）</p> <p>【感染症治療に関する基本事項】</p> <p>① 抗菌薬の作用機序による分類ができる。</p> <p>② 時間依存性の抗菌薬を挙げ、その特徴を説明できる。</p> <p>③ 濃度依存性の抗菌薬を挙げ、その特徴を説明できる。</p> <p>④ 感染症の治療における問題点、院内感染について説明できる。</p> <p>抗感染症薬（2）</p> <p>【抗菌薬】</p> <p>① 抗菌薬の代表的薬物を挙げ、各々の特徴について説明できる。</p> <p>② 抗菌薬の抗菌スペクトルについて説明できる。</p> <p>抗菌薬の有害作用の具体例を挙げるができる。</p>	<p>〔予習〕教科書 68-74、75-89 を読んでおくこと。</p> <p>〔復習〕配布資料の確認、空欄の語句を埋め、授業内容を整理する。</p> <p>〔キーワード〕抗生物質、抗菌スペクトル、菌交現象、日和見感染、最小発育阻止濃度、濃度依存性薬、時間依存制約、βラクタム系、ポリペプチド系、アミノ配糖体系、テトラサイクリン系、マクロライド系、ニューキノロン系、マクロライド系、ニューキノロン系、サルファ剤</p>	○前畑
5（10/3） 3限	<p>抗感染症薬（3）</p> <p>【特殊な感染症の治療薬】</p> <p>① 抗結核薬の代表薬を挙げるができる。</p> <p>② 抗真菌薬の代表薬を挙げるができる。</p> <p>③ 抗ウイルス薬の代表薬を挙げるができる。</p> <p>【消毒薬】</p> <p>① 消毒薬の代表薬を挙げるができる。</p> <p>② 代表的な消毒薬の臨床応用を説明できる。</p>	<p>〔予習〕教科書 80-98、306-312 を読んでおくこと。</p> <p>〔復習〕配布資料の確認、空欄の語句を埋め、授業内容を整理する。</p> <p>〔キーワード〕抗結核薬、抗真菌薬、抗ウイルス薬、消毒薬、石炭酸係数（フェノール係数）</p>	○前畑
6（10/10） 3限	<p>抗悪性腫瘍薬</p> <p>【悪性腫瘍治療に関する基礎事項】</p> <p>① 抗悪性腫瘍薬を作用機序により分類し、代表的な抗悪性腫瘍薬を挙げるができる。</p> <p>② 代表的な抗悪性腫瘍薬の有害作用について説明できる。</p> <p>③ 癌性疼痛における 5 原則と除痛ラダーについて説明できる。</p>	<p>〔予習〕教科書 104-115 を読んでおくこと。</p> <p>〔復習〕配布資料の確認、空欄の語句を埋め、授業内容を整理する。</p> <p>〔キーワード〕化学療法、細胞周期特異的薬、細胞周期非特異的薬、抗癌薬の有害作用、自然耐性、獲得耐性、交差耐性、P 糖タンパク質、除痛ラダー</p>	○前畑
7（10/19） 3限	<p>免疫治療薬</p> <p>① 免疫抑制薬の作用機序と代表薬を挙げ、臨床応用例について説明できる。</p> <p>② 免疫増強薬の作用機序と代表薬を挙げ、臨床応用例について説明できる。</p>	<p>〔予習〕教科書 118-127 を読んでおくこと。</p> <p>〔復習〕配布資料の確認、空欄の語句を埋め、授業内容を整理する。</p>	○前畑

	て説明できる。	[キーワード] 免疫抑制薬、免疫増強薬、予防接種薬、能動免疫、受動免疫、ワクチン、トキシイド、抗原抗体反応、	
8 (10/24) 3限	抗アレルギー薬・抗炎症薬 ① 抗アレルギー薬を作用機序により分類ができる。 ② 抗炎症薬を作用機序により分類ができる。 ③ 関節リウマチ治療薬を挙げ、特徴を説明できる。 痛風治療薬を挙げ、特徴を説明できる。	[予習] 教科書 130-143 を読んでおくこと。 [復習] 配布資料の確認、空欄の語句を埋め、授業内容を整理する。 [キーワード] アレルギー、ケミカルメディエーター、抗ヒスタミン薬、抗アレルギー薬、炎症、抗炎症薬、シクロオキシゲナーゼ、アラキドン酸カスケード、非ステロイド性抗炎症薬、ステロイド性抗炎症薬	
9 (10/31) 3限	末梢での神経活動に作用する薬物 【自律神経に作用する薬物】 ① 交感神経作用薬の代表薬と臨床応用が説明できる。 ② 副交感神経作用薬の代表薬と臨床応用が説明できる。 【体性神経に作用する薬物】 ① 筋弛緩薬の代表薬と臨床応用について説明できる。 ② 局所麻酔薬の代表薬とその特徴について説明できる。 中枢神経に作用する薬物 (1) ① 全身麻酔薬を分類し、各々の代表薬を挙げることができる。 ② 催眠薬・抗不安薬の作用機序と分類ができる。	[予習] 教科書 146-162、166-178、を読んでおくこと。 [復習] 配布資料の確認、空欄の語句を埋め、授業内容を整理する。 [キーワード] アドレナリン作動薬、抗アドレナリン作動薬、コリン作動薬、抗コリン作動薬、筋弛緩薬、局所麻酔薬、全身麻酔薬、吸入麻酔薬、静脈内麻酔薬、催眠薬、抗不安薬、	○前畑
10 (11/7) 3限	中枢神経に作用する薬物 (2) ① 抗精神病薬の作用機序と分類ができる。 ② 抗うつ薬の作用機序と分類ができる。 ③ 抗躁薬の種類を挙げ、特徴を説明できる。 ④ パーキンソン症候群治療薬の種類を挙げ、作用のしくみを説明できる。 ⑤ 抗てんかん薬の種類を挙げ、その特徴を説明できる 中枢神経に作用する薬物 (3) ① 麻薬性鎮痛薬の作用機序と分類ができる。 ② 合成麻薬の作用機序と分類ができる。 ③ 非麻薬性合成鎮痛薬の作用機序と分類ができる。 呼吸促進薬の種類とその臨床応用について説明できる。	[予習] 教科書 179-194 を読んでおくこと。 [復習] 配布資料の確認、空欄の語句を埋め、授業内容を整理する。 [キーワード] 抗精神病薬、気分障害治療薬、抗うつ薬、抗気分障害薬、抗躁薬、抗けいれん薬、アヘンアルカロイド、合成麻薬、非麻薬性合成鎮痛薬、麻薬拮抗性呼吸促進薬	○前畑

<p>11 (11/14) 3限</p>	<p>心臓・血管系に作用する薬物(1)</p> <p>① 抗高血圧薬の作用機序と分類ができる。 ② 狭心症治療薬の作用機序と分類ができる。 ③ 強心薬の作用機序と分類ができる。</p> <p>心臓・血管系に作用する薬物(2)</p> <p>① 抗不整脈薬の作用機序と分類ができる。 ② 利尿薬の作用機序と分類ができる。 脂質異常症治療薬の作用機序と分類ができる。</p>	<p>[予習] 教科書 195-222 を読んでおくこと。 [復習] 配布資料の確認、空欄の語句を埋め、授業内容を整理する。 [キーワード] 抗高血圧薬、狭心症治療薬、強心薬、ジギタリス、不整脈のポーン=ウィリアムズ分類、抗不整脈薬、利尿薬、脂質異常症治療薬</p>	<p>○前畑</p>
<p>12 (11/21) 3限</p>	<p>血液に作用する薬物</p> <p>① 貧血治療薬の作用機序と分類ができる。 ② 抗血液凝固薬の作用機序と分類ができる。 ③ 血栓溶解薬と抗血小板薬の作用機序と分類ができる。 ④ 抗凝固薬の臨床応用について説明できる。</p>	<p>[予習] 教科書 224-235 を読んでおくこと。 [復習] 配布資料の確認、空欄の語句を埋め、授業内容を整理する。 [キーワード] 鉄欠乏性貧血、巨赤芽球性貧血、溶血性貧血、白血病治療薬、抗血液凝固薬、血栓溶解薬、抗血小板薬、止血薬</p>	<p>○前畑</p>
<p>13 (11/28) 3限</p>	<p>呼吸器・消化器・生殖器系に作用する薬物(1)</p> <p>【呼吸器系に作用する薬物】</p> <p>① 気管支喘息治療薬の作用機序と分類ができる。 ② 鎮咳薬・去痰薬・呼吸促進薬の作用機序と分類ができる。</p>	<p>[予習] 教科書 240-244 を読んでおくこと。 [復習] 配布資料の確認、空欄の語句を埋め、授業内容を整理する。 [キーワード] 気管支喘息治療薬、鎮咳薬、去痰薬、呼吸促進薬</p>	<p>○前畑</p>
<p>14 (12/5) 3限</p>	<p>呼吸器・消化器・生殖器系に作用する薬物(2)</p> <p>【消化器系に作用する薬物】</p> <p>① 消化性潰瘍治療薬の作用機序と分類ができる。 ② 制吐薬・下剤・止痢薬の作用機序と分類ができる。</p> <p>【生殖器系に作用する薬物】</p> <p>女性生殖器および男性生殖器に作用する薬物を挙げ、各々特徴について説明できる。</p>	<p>[予習] 教科書 244-256、298-303 を読んでおくこと。 [復習] 配布資料の確認、空欄の語句を埋め、授業内容を整理する。 [キーワード] 胃潰瘍治療薬、制吐薬、下剤、止痢薬、更年期障害治療薬、経口避妊薬、排卵誘発薬、前立腺肥大治療薬</p>	<p>○前畑</p>
<p>15 (12/12) 3限</p>	<p>物質代謝に作用する薬物</p> <p>① 糖尿病治療薬の作用機序と分類ができる。 ② 甲状腺疾患治療薬の作用機序と分類ができる。 ③ 骨粗鬆症の治療薬の作用機序と分類ができる。</p>	<p>[予習] 教科書 260-270 を読んでおくこと。 [復習] 配布資料の確認、空欄の語句を埋め、授業内容を整理する。 [キーワード] 糖尿病治療薬、甲状腺疾患治療薬、骨粗鬆症治療薬</p>	<p>○前畑</p>